

北海道浮魚ニュース

平成 18(2006)年度 4 号 (通巻 No.217)

2006 年 6 月 22 日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

道東太平洋イカ類資源調査結果

調査期間・海域 : 2006 年 6 月 14 ~ 21 日・道東太平洋

調査船 : 北辰丸 (釧路水産試験場所属), イカ釣機 6 台装備

道東沖のスルメイカは, 低密度で大型

1. 水温分布 (図 1)

調査点の表面水温は 8.3 ~ 13.4 でした。

2. 分布密度 (図 1, 2)

調査を行った 7 調査点の分布密度 (CPUE : イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) は, 0 ~ 1.11 で, 調査海域の南東の調査点でスルメイカが確認されました (図 1)。平均 CPUE は 0.16 で, 前年と同じく低くなっていました (図 2)。

3. スルメイカの大きさ (図 3)

スルメイカの外套長 (胴長) は 15 ~ 19cm でした。モード (最も多く漁獲されたイカの大きさ) は 17cm で, 前年 (14cm) より 3cm 大型でした。

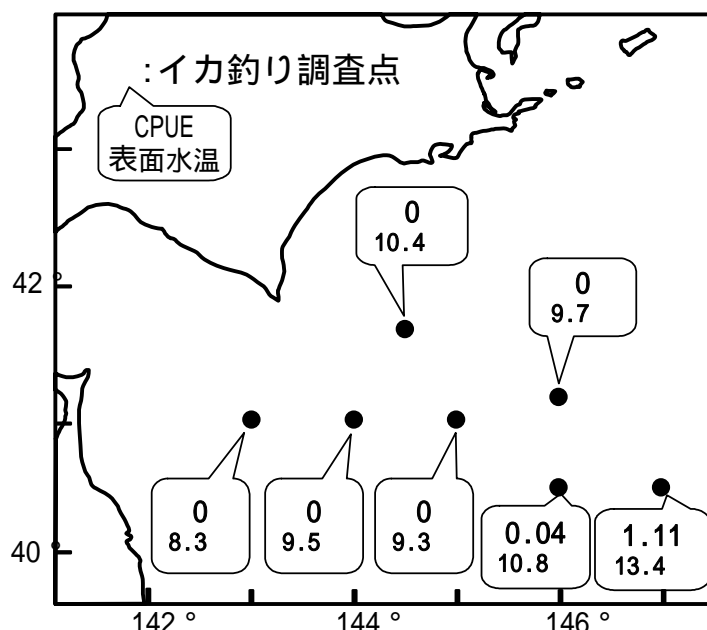


図 1 2006 年 6 月の道東太平洋におけるスルメイカの分布密度 (CPUE) と表面水温

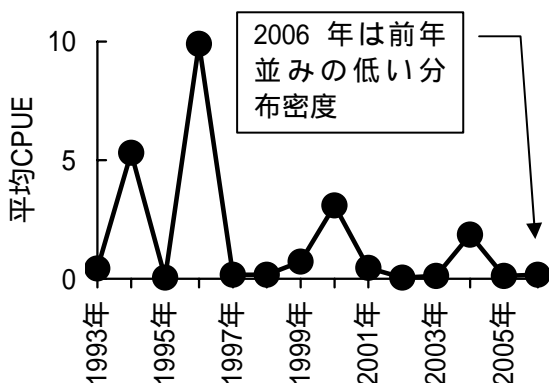


図 2 スルメイカの分布密度の経年変化

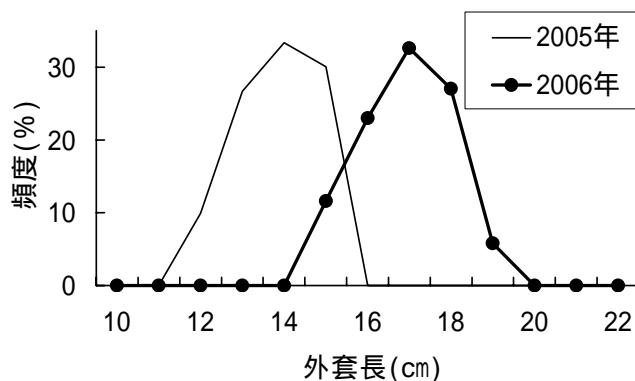


図 3 スルメイカの外套長組成